

## 動脈硬化健診に参加された皆さんへ

和歌山県立医科大学保健看護学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご説明するのは、みなべ町、高野町、北山村で実施された動脈硬化健診を受診された皆様の検査結果やアンケート調査の情報を利用して解析を行う後ろ向き観察研究です。この研究は、和歌山県立医科大学の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して行う研究ですので、動脈硬化健診を受診されている皆様に新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

動脈硬化健診を受診されている皆様には、研究の趣旨や方法をご説明し、検査結果やアンケート調査の情報を、生活習慣病の有効な予防法を明らかにするための研究に利用させていただくことについて同意をいただいているところですが、この研究に対してご自身の情報が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

後ろ向き観察研究とは、過去のある時点軸から現在に向かって経過を観察していく研究手法です。たとえば、高塩分を摂取する住民とそうでない住民について、過去を遡ってヘルスリテラシーを調べ、高塩分摂取とヘルスリテラシーに関連性があるかを研究します。

ヘルスリテラシーとは、健康や医療に関する情報を探したり、活用したりする能力のことです。さまざまな健康情報の中で正しい情報を見抜き、情報を使いこなす能力を高めることが健康を守るために重要です。

### 1. 研究課題名

地域在住中高年者におけるヘルスリテラシーと塩分摂取量との関連

### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 服部園美

### 3. 研究の目的

地域在住中高年者におけるヘルスリテラシー、塩分摂取量との関連を明らかにすることを目的とします。本研究結果を活かすことで、地域住民が塩分摂取に対する正しい知識をもち、食事習慣の改善や自ら健康意識を高めることで健康寿命を延ばす一助になると考えます。

### 4. 研究の概要

#### (1) 研究の対象となる方

みなべ町、高野町、北山村の2021年度に実施した動脈硬化健診において塩分摂取量（生化学検査）とヘルスリテラシーに関する質問紙調査に参加した者となります。

#### (2) 利用させていただく情報

この研究で利用させていただくのは、動脈硬化健診で収集するヘルスリテラシー（HL14 日本版、2013）および生化学検査（血液・尿）、循環機能検査、認知機能検査、食事摂取状況、生活習慣（飲酒、喫煙、身体活動量、疾患など）に関する情報です。

#### (3) 研究方法

健診参加者の個人から得られた生化学検査とヘルスリテラシーに関する質問紙調査の情報から中高年者の塩分摂取量とヘルスリテラシーとの関連を明らかにします。また、動脈硬化健診で収集する生化学検査（血液・尿）、循環機能検査、認知機能検査、食事摂取状況、生活習慣（飲酒、喫煙、身体活動量、疾患など）に関する情報を利用してヘルスリテラシーとの関連を探索的に解析します。

### 5. 個人情報の取り

この研究に利用するデータからは、個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

## 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

このような後ろ向き観察研究では、医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の情報が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、以下にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 研究組織

研究責任者 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 服部園美

分担研究者 和歌山県立医科大学保健看護研究科 2年生 陳永輝

## 8. 問い合わせ先

和歌山県和歌山市三葛 580 番地

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 服部園美

連絡先：073-446-6725

sonomi@wakayama-med.ac.jp